

自ら学び続ける教職員研修支援事業 活動報告書

学校名 可茂特別支援学校

テーマ 自ら学び続ける教職員のキャリア・パスポート
～1人1テーマ研究を通じて～

取組のポイント・成果

<取組の内容とポイント>

当校は、1人1テーマ研究に取り組み3年目である。今年度は、教職員自身のキャリア発達を意識した「新たな教師の学びの姿」になぞらえるような研修体制を整えた。研究としては、岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標を参考にしたテーマ設定（目標設定）を行った。そして、個のキャリアステージや課題に応じた1人1テーマ研究の実践を、教職員のキャリア・パスポートとして蓄積した。それを支える研修体制としては、1人1テーマ研究を軸とし、校内自主研修やLTA研修パッケージ等を行った。どの研修においてもグループワークを中心とした対話の機会を設け、アウトプットすること、共有すること、フィードバックすることを基本とした。また、教材・教具展を実施し、日頃の実践を発表、共有する機会を設けた。賞を設けることで教職員のモチベーションを上げ、資質向上を図った。

※LTA研修パッケージ：東京大学先端科学技術研究センターが開発した教員向けオンライン研修動画コンテンツ

【校内研修等】

- 1人1テーマ研究 グループワーク：6/26 11/17 (2/19)
- 自主研修会 全8回：4/24 5/22 6/13 6/18 7/28①② 8/27 8/28
- LTA研修パッケージ グループワーク：9/22 10/14 11/17
- 教材・教具展：7/24～8/20 12/19～1/8

【自ら学び続ける教職員研修支援事業】

- 日本特殊教育学会第63回大会水戸大会（ポスター発表、シンポジウム参加）
- キャリア発達支援研究会広島大会（当校の取組について、他県参加者と意見交流）

<成果>

1人1テーマ研究を軸とした様々なテーマに対応する研修機会の設定と研修方法の工夫により、教職員の主体的な学びを促すことができた（職員アンケート結果より）。特に、グループワークのグルーピングを工夫し、多数の先生と意見交流や共有する機会を6回設けたことは、自身の実践を言語化、可視化することになり、一人一人の学びを深めることに直接繋がったのではないかと考える。これらの取組は、自己の課題解決に向けた学びを継続させる仕組みとなっていくと考える。

今後の課題

参加した学会や研究会では、当校の取組についてグループワークの方法などの改善点を発見したり、個々のテーマに関する最新の情報を入手し、研修会で校内へ還元したりすることができた。

課題として、1人1テーマ研究の実践内容の質の向上、研究方法と研修体制の定着、部ごとの意識の差を埋めていくことが挙げられる。引き続き、教員の主体的な学びの促進を図っていきたい。